

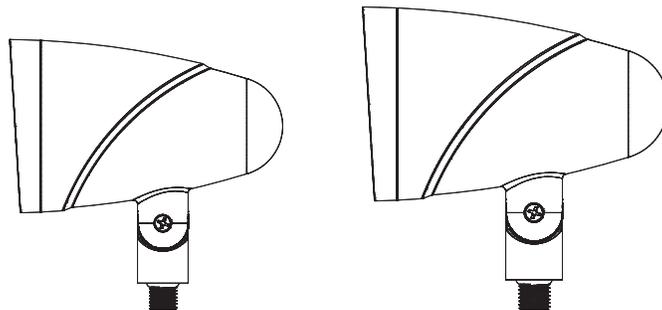


SONANCE®

SATELLITE SPEAKERS

取扱説明書

LS4T SAT | LS6T SAT



はじめに

この度はSLSスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このスピーカーは、正しく設置することで、長年にわたり屋外でのエンターテインメントをお楽しみいただけます。新しいスピーカーを最大限に活用するために、取り付けを開始する前に、この取扱説明書をよくお読みください。

箱の内容

- (1) サテライト・スピーカー
- (2) シリコン充填ワイヤーナット



LS4T SAT
Landscape Series Satellite Speaker

注：一般的なガイドラインとして、(1)サテライトはリスニングエリアの約76平方メートルをカバーします。

サテライトの位置は、メインのリスニングエリアから等距離になるように注意してください。可能であれば、アコースティック・ステージを中央に定位させるために、高い位置と低い位置を使い分けてください。図2をご参照ください。

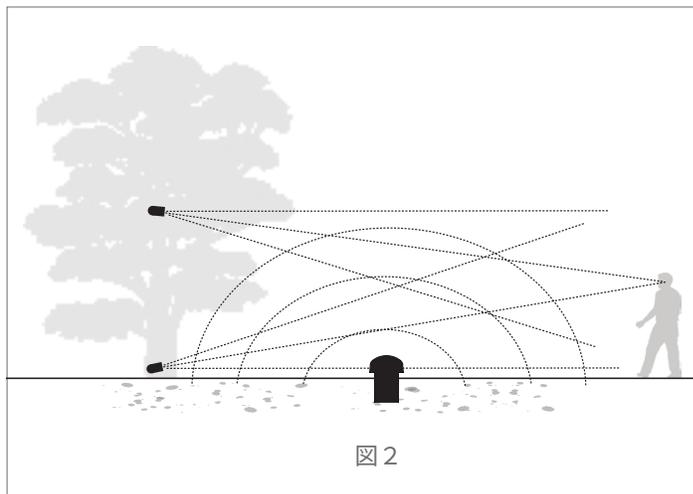


図2

調節可能なタップ

このSonance Landscapeシリーズは、広帯域幅のSonance Laminated Core Transformer (SLCT)を搭載しており、タップを調整することで、70V/100Vまたは8Ω用にシステムを構成することができます。

SLS製品を8Ωで使用する場合は、タップスイッチが8Ω設定になっていることを確認してください。

この製品を70V/100Vシステムで使用する場合はタップが70V/100V設定のいずれかになっていることを確認してください。

注意：アンプへのダメージを避けるため、1台のアンプで70V/100V設定の製品と8Ω設定の製品を組み合わせないでください。

70V/100Vのシステム・デザインによっては、庭園の異なるエリアで高い出力と低い出力のバリエーションが必要になります。SLCTのアジャスタブル・タップは、各サテライトやサブウーファーを個別に希望の出力に調整することができます。タップの設定を調整すると、ワット数の計算に影響します。

注意：本製品はSLCT調整可能タップが40Wに設定された状態で出荷されます。すべてのサテライトとサブウーファーを接続した後、適切な出力レベルになるようにタップスイッチで調整することができます。

アンプ・パワー・プランニング

システムで使用できるサテライトとサブウーファーの最大数は、アンプのパワーによって異なります。

インストールを始める前に、必要なアンプパワーを計算することが重要です。

大規模な設置では、複数のアンプが必要になる場合があります。

サテライトの配置

SLSシステムは、シームレスで均等に分散した音場を屋外環境で実現するように設計されています。複数のサテライトスピーカーとサブウーファーのアレイを戦略的に配置することで、屋外のエンターテインメントエリアを移動する際の「ホットスポット」や「ブランクエリア」を最小限に抑えることができます。

SLSサテライト・スピーカーの推奨設置間隔は、設置場所の周囲3.5mです。SPLが高く、リスニングエリアが近い場合は、間隔を短くすることをお勧めします。サテライトを4~5台設置することにより、スピーカー・ワイヤー・チェーン内にお好みのSLSサブウーファーを1台設置してください。こうすることで、サテライトスピーカーとサブウーファーの出力がよりシームレスに調和します。図1をご参照ください。

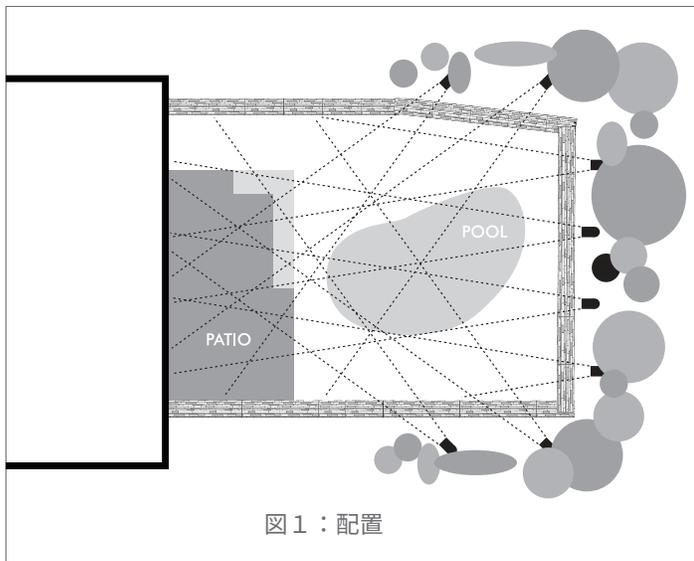


図1：配置

サテライトの配線と設置

Sonance Landscapeシリーズ・システムでは、スピーカーをデジチェーン接続することができます。一般的なシステムで1ゾーンのオーディオを使用する場合、アンプから最も近いスピーカーにステレオまたは4芯のスピーカー・ワイヤーを接続するだけです。最初のスピーカーをLRどちらかに指定し、適切なプラスとマイナスのワイヤーをスピーカーターミナルに接続します。各スピーカーのLRのチャンネルを交互に接続し、ステレオ・サテライトのデジチェーンを作ります。サブウーファーはチェーンのどこにでも配線でき、LまたはRのスピーカー・ワイヤーを受け取ります。

図4をご参照ください。

注：スプリンクラーヘッドの直接噴射範囲内にSLSスピーカーを設置しないでください。水流から2フィート以上離してください。

注：抵抗線のロスを最小限に抑えるため、配線はできるだけ短くしてください。

注意：スピーカーの配線がすべて完了するまで、アンプを交流電源に接続しないでください。70Vのハイパワーアンプは、深刻な感電の危険があります。

注意：サテライト・スピーカーを設置する前に、各スピーカーがシステム設計と要件に適した70V/100Vまたは8Ωタップに設定されていることを確認してください。

1. 位置が決まったら、プロジェクトに適した取り付けアクセサリを選択します。注意：高さ調整ネジを微調整する際は、必ず#3プラスドライバーを使用してください。

- 建物や構造物の側面のような平らな面に設置する場合は、「SURFACE MOUNT」を使用してください。正確な取り付け方法については、付属の取扱説明書を参照してください。

- 地面に直接設置する場合は、「9" GROUND STAKE」を、LS6T SATには「19" GROUND POST」等をご使用ください。LS4T SATおよびLS6T SATスピーカーには、1/2インチNPS取り付けネジがあります。

正確な手順については、付属の取扱説明書をご覧ください。

- 樹木への取り付けには、「Tree Mount」をご使用ください。

正確な手順については、付属品に同梱の取扱説明書を参照してください。

2. アクセサリーを希望の位置に取り付けたら、マウンティングシャフトをアクセサリの対応する開口部にねじ込んでサテライトを取り付けます。

注：システムをショートさせる可能性のある切り傷を避けるため、電気リード線に注意を払う必要があります。

3. メインリードに接続する個々のリードを準備します。
4. スピーカー配線を通すために、4インチから5インチの深さの溝を掘ります。
5. アンプから最初のスピーカー位置まで、溝を通してワイヤーを通し、最初のスピーカーの位置まで配線します。
6. 接続には、ワイヤーコネクタか、適切なジャンクションボックスを使用します。図3をご参照ください。

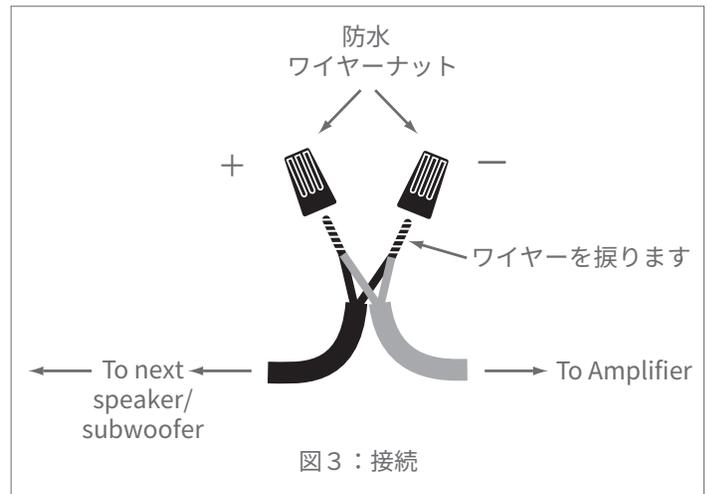


図3：接続

注意：「+」と「-」の素線同士が接触するとショートし、アンプを損傷する恐れがあります。

7. すべてのスピーカーの接続が完了したら、ワイヤーをアンプに接続します。図4をご参照ください。
8. アンプの電源を入れ、お好みの音楽でシステムをテストします。スピーカーが正常に動作していれば、通線溝を埋めて新しいシステムをお楽しみください。

